

公民館だより

平成26年6月15日発行【第343号】

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



VO伊藤大輔 PF阿部篤志 TP山田友和

「伊藤大輔 IN あわら」JAZZコンサート

5月18日(日)、午後5時から金津創作の森・ミュージアム2にて「伊藤大輔 IN あわら」ジャズコンサートが行われました。(主催：愛する蓮如の里「吉崎」サポートクラブ)ヴォイス・ソリストの伊藤大輔が歌い上げる心に届く美しい詩と、一度聴いたら耳に残るキャッチーなメロディーが会場に冴えわたり彼の音楽に対する情熱を感じさせます。

その卓越した音楽センスと独自性から生まれた“Voice Solo”というチャーミングなボーカルが、ステージを華やかに包み込み、阿部篤志のピアノを加え抜群のバックिंगセンスとテクニックで観客を魅了しました。

また、トランペット奏者・山田友和を加えてのセッションやトークもあり会場は大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごしていただきました。

鳴り止まない拍手の中、アンコールで聴かせてくれた「ふるさと」「音の葉・言の葉」・・・優しく温かい空気で会場全体が一体となった感動のライブでした。



お知らせ

7月26日(土)午後5時30分～ 第33回湖畔の夕べ

おもてなしの心」で・・・「吉崎語り部の会」

5月29日（木）、東京から（観光客）のお客様を国指定『吉崎御坊跡』（吉崎御山）にご案内しました。

吉崎にはたくさんの素敵な観光スポットがありますが、「吉崎に来て、御山を見ないで帰る人が多いが、それはもったいない！お寺へ行って御本尊を拝まないで帰るようなものである！」と言われているように、この「吉崎御山」こそが吉崎観光第一の目玉です。



浄土真宗第8代法主「蓮如」ゆかりの史跡も多く、北潟湖水が囲み、広い松林の中に高村光雲の「蓮如上人像」があり、雑木の合間から見える天然記念物「鹿島の森」の美しい自然が訪れる人の心を和ませてくれています。

その良さに触れてもらおうと、各スポットにまつわる秘話などを織り交ぜた案内で観光の楽しさ倍増にも勤めています。

また、お客様のお言葉が何よりの励みとなっています。

「吉崎語り部の会」では、観光客の方々を「おもてなしの心」で温かくお迎えするとともに、地域の魅力・見どころ、地域の情報を発信し、喜んでいただけること、また来て見たいと思っただけの観光地を目指しています。

第33回湖畔の夕べ・夏まつり」準備進む！

5月22日（木）、「第33回湖畔の夕べ・夏まつり」の準備委員会が区長会を中心に開かれ、日程や会場の原案が示され、実行委員の主なメンバーが決まりました。

6月15日（日）に第1回実行委員会が行われ、必要な準備や円滑な運営を進めるための主な開催概要などが承認され本格的に開催に向けての活動が始まります。

機運を高めるため今回も昨年同様、多くの皆さんからのご意見を取り入れ「区民総ぐるみで創るイベント」としての各部門、各係りなどで実行委員に加わっていただける方や、企画委員として開催をサポートしていただける方をお願いすることになります。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。また、気の付いた事やご意見がありましたら、ご遠慮なく公民館（Tel:75-1205）までご連絡下さい。



一般初期消火競技の部で入賞！！

6月8日(日)、第36回女子防火競技大会が福井空港駐車場で行われました。

吉崎からは一般初期消火競技の部(清水千里さん・吉村都さん・柴山可奈さん)三名の方が出場され入賞されました。団体バケツ競技の部

(山下洋子さん・清水千里さん・吉村都さん・柴山可奈さん・栗原好美)五名の方が出場され、おしくも入賞にはなりませんでしたが、みなさん夜練習に通って下さったり、日曜日のお忙しい中、参加して下さいありがとうございました。また、ご家族のご協力があったの事と感謝申し上げます。区長会長・浅田様には、お忙しい中また暑い中を応援に来て下さりありがとうございました。来年は、以前出場された方々にお声をかけさせて頂こうと思っております。もう一度あのドキドキ感一緒に味わってみましょう！！



もう一度あのドキドキ感一緒に味わってみましょう！！

婦人防火クラブ 吉崎志部長 栗原 好美

『グランドゴルフ大会』(吉崎体協主催)



5月25日(日)、当日は晴天に恵まれ、春季グランドゴルフ大会が吉崎小学校グラウンドで開催されました。

平坦なコースだったので、ホールインワンが多数でると思われましたが、一つも出ず、スコアも御山でのコースと変わらなかったです。男性の部優勝は相茶忠信さん、女性の部優勝は岡田由利亜さんでした。おめでとうございます！

男性・女性・子どもが入り混じっての27名の方にご参加いただき、交流もおおいにすすん

だと思います。たくさんのご参加、まことにありがとうございました。次回は秋に開催を予定しています。

『健康長寿のふくいやさい①』～知ってますか～

【越しのルビー】

強い甘さと程よい酸味を持つ「越しのルビー」は、ピンポン玉程度の大きさの中玉トマトです。普通の大玉トマトより甘く、フルーツ感覚で食べられて水分やミネラル補給にも最適なので、美容効果を期待する若い女性にも人気です。栄養も満点で、通常の大玉トマトの約2倍のビタミンCを含み、老化防止や生活習慣病の予防にもなるリコピンや血圧低下作用のあるカリウム、鉄分など、健康によい成分がたっぷり。全国的に高い評価を受けており、皇室にも献上されています。



『創作の森を訪ねて』「福井利佐展」 ～進化する切り絵の世界～

6月7日（土）、金津創作の森で開催中の切り絵作家・福井利佐さんの企画展に行ってきました。福井さんの切り絵は、線を何層にも重ねたり、無数の色を組み合わせ立体感と迫力を出す独自の表現法を考案し、その手法は切り絵なのだが、私たちが知っている切り絵のどれとも違う独自の世界を創り出しています。

また、切り絵の概念を変えたともいわれている福井さんの作品は、本の表紙や挿絵、スニーカーのデザイン、中島美嘉さんのジャケット・ステージ装飾など多方面に使われていて注目されています。

作品約120点が並ぶ会場は、照明や展示方法にも工夫を凝らし、体験できないようなスケール感と複雑に広がる繊細な線にはただ圧倒されてしまいます。人物や動物の顔をモチーフにした作品のほか、越前和紙で会場周辺の生き物や植物を表現した新作もあり大勢の来場者で賑わっていました。作品も演出もすばらしく「福井利佐」独特の世界観を堪能できる楽しい展覧会になっていました。



「切り絵ワークショップ」

6月7日（土）金津創作の森で、小学生の親子を対象とした、福井利佐さんの「切り絵ワークショップ」が開催され大勢の親子が参加されました。

「創作の森の生き物たち」というテーマで、創作の森周辺の動植物を観察したり、調べたりしたあと、創作工房で福井さんの指導のもと

と自分なりのアレンジを加えて切り絵で表現しました。

カッターナイフを使ったことのない子も、黒い紙をナイフで切って素敵な作品を頑張って完成させました。笑顔が多くみられ、親子そろって楽しんだ切り絵ワークショップでした。

イチゴ美味しかったよ～！

吉崎幼稚園の園庭には、たくさんおいしいものがあります。園庭にある小さな畑で、園児たちがイチゴを収穫しました。

「どれにしようかな～」、先生と一緒に選んで優しく採ったよね～。「真っ赤なのあったよ～！」「おいしそう！」自分で好きなイチゴを選んで「ハイ、チーズ☆」「いただきます」小さいけれど、プチュ～口の中でつぶれ甘いイチゴの果汁が口いっぱいに広がりました。

イチゴのいいにおいもいっぱい広がりました。「甘～い」「もうひとつ食べたいな・・・ひとつじゃ足りない！」あとは教室に帰って先生と「いただきます！」



The時代 吉崎の変遷を辿る ～真宗道場のお話2～

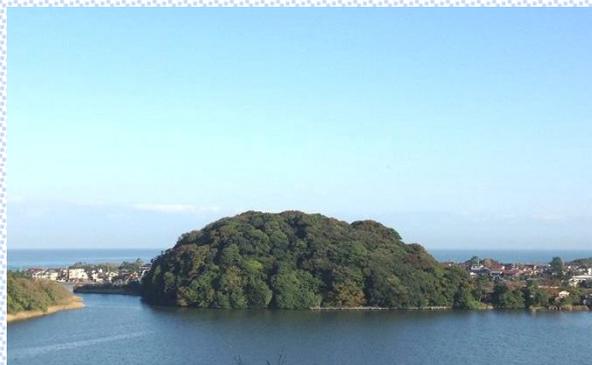
仏教国と言われる越前の中でも、あわら市の旧金津町はお寺と村道場の多いところ。道場は仏道修行の場ですから、道場仏壇と太鼓があって太鼓の合図で仏事が行われました。道場仏壇は内陣仏壇（床の間式）で戸を開けるとすぐ御本尊を拝むことができます。この仏壇は須彌壇の裏へ回れるお寺の内壇や、在家の箱仏壇とも異なっています。道場役は道場仏をお守りして、同行の法事を助け報恩講の宿坊を勤めるなどなかなか重い役でしたから上座に着くのが慣例でした。戦前では仏日（命日）ごとに、同行がお湯仰（仏飯米）を一合ほど道場に届ける慣習がありました。



村道場も長い年月の間に、寺号をもらって寺院に昇格したり道場役を回り持ちにしたり、道場役をやめて屋号だけが残ったり、いろいろ変遷しています。最近では区民館に仏壇を置く所もあり「お講さま」も精進料理で行う所が少なくなりました。

蓮如以来の本願寺派道場の多くは蓮如真筆の南無阿弥陀仏が掛かっています。高田派の道場は脇掛けに、歸命盡十萬無碍光如来（きみょうじんじゅっぽうむげこうによらい）と南無不可思議光如来の名号を掛けてあります。高道場の起源は古く熊坂専修寺の道場であったようで、滝の高田派の道場であったようです。滝の高田派の「お講さま」は滝区内の高田派の合同で行われています。

吉崎再発見 51 ～蓮如さんのころの鹿島



吉崎の御山から鹿島の森を見おろす眺めは実に素晴らしく、日本海の大海原を背景に夢のようです。蓮如上人ご在世ごろの鹿島は離れ島で、その頃もこの島には鹿島神社がありました。祭神は軍の守り神で、外に旅路の安全の神様も祭ってありました。上人は文明3年（室町時代中期1471年）に吉崎御坊を建立し、お説教に歩いて御坊へ帰った時には、「お腰かけの石」に腰をおろして休みました。

そして「かしま山 やどる鳥（からす）の 声きけば今日も暮れぬと 告げ渡るなり」と詠われたのです。江戸時代の元禄の頃、加賀藩が35年もかかって鹿島新道を造り、吉崎から歩いて鹿島へ行くようにしました。それからは鹿島は離れ島でなくなりましたが、それでも鹿島は越前の鹿島か加賀の鹿島かはっきりしませんでした。

知っていますか？ 『ツルガマイマイ』

5月4日、吉崎御山に上がる旧道、馬場大路を整備中に今では珍しいカタツムリを見つけました。名前はツルガマイマイ、生息地は北陸（福井・石川・富山）から近畿東北部に分布しています。昔はよく見られたツルガマイマイ（カタツムリ）ですが、現在は京都府のレッドデータカテゴリーでは準絶滅危惧種に指定されています。



吉崎「鳥ものがたり」(1)

日本野鳥の会福井県 組頭五十夫

●オオヨシキリ：オリーブ黄褐色で、ギョギョシ、ギョギョシ、ケケシ、ケケシ、チカチカと大きな声でさえずり、夏鳥として広いアシ原に渡来する。俳句の世界では、ヨシキリ、行々子と呼ばれ夏の季語小中学生の頃、「ぎょうき：御忌」の頃には、ギョギョシの鳴き声をよく聞いた。現在の郵便局や吉崎寺の湖側は広いヨシ原だったので、何とか巣を見つけたいと探し歩いていたが、なかなか発見できなかった。母の実家が隣村の永井だったので、従兄弟と大聖寺川の川岸のヨシ原で巣を見つけ、卵を採集した時の喜びと興奮は今でも鮮明に覚えている。卵を温めてもヒナに孵すことができず苦い経験だった。それ以降、卵を採るようなことはしなくなった。



ヨシ原でさえずる
オオヨシキリ

現在では、ヨシ原が殆どなくなったので、あまり見かけません。オオヨシキリがいなくなるとその巣に託卵（他の鳥の巣に卵を生み込み育ててもらおう。）するカッコウが来なくなります。

新緑の森『FTPイベントに行く！』



5月25日(日)、金津創作の森を会場に国内外のクラシックカーや名車が集まる第15回フレンチ・トースト・ピクニック2014が開催されました。

FTPは、クルマ好き、とりわけフランス車を愛好する人達の集まりで会場に一歩足を踏み入れるとそこはまさにフランス車一色の風景が広がっていました。

新緑が美しい、あわら市街や北湯湖畔を走るタイムレースやちょっと古い車たちの紹介、1929年制「オースチン・セブン」の試乗会も行われ車に詳しくない人でも十分に楽しめるイベントになっていました。また、子供たち参加によるクルマの写生大会や、FTPの恒例のボンネットバスによる市内を走るミニ遠足はノスタルジックムードが盛り上がり、このイベントならではの風景でした。

会場の一画には、アクセサリパーツや自動車関連グッズのショップが軒を並べお目当ての品を求める多くのお客様で賑わっていました。

★★★★ ただいま練習中！（吉崎小学校）★★★★

7月12日(土)敦賀市で開催される、「交通安全子ども自転車大会」にむけて吉崎小学校自転車クラブの5、6年生が練習中です。頑張ってください！



『駐在さん、だぁ〜い好き!』 —その23—

こんにちは、吉崎駐在所の宮越通安です。

平素は、警察行政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1. オレオレ詐欺など詐欺被害が急増! 家族皆さんで警戒しましょう!

オレオレ詐欺など特殊詐欺と言われる犯罪が急増しています。被害額は過去最悪で遭った去年をさらに大きく上回るペースとなっています。特殊詐欺被害者の97%は60歳以上の方となっています。

○詐欺師の心理作戦の内側

「被害者に判断させる」ことで、被害者が誤りに気付かないように操作。

○心構え

- ・現実として「私は大丈夫」と思っている人ほど騙される!
- ・電話の声だけで犯人と見破るのは困難!

○対策 (水際対策がとても大切です)

- ①在宅中も常に留守番電話に設定しましょう。
- ②息子や孫、身内を名乗る場合でも、直ちに電話に出ることなく、こちらから掛けなおすこと。
- ③はっきりしない請求はきっぱりと無視! 相手にしない!
- ④「おかしい」と感じたら、迷わずあわら警察署へ連絡を (73-0110)



2. (好評再掲載中!) 泥棒が泥棒を諦める瞬間ベスト10

好評につき、「泥棒が泥棒を諦める瞬間ベスト10」を再連載中です。今回は第8位を解説付きでご紹介します。泥棒の被害に遭わないのが何より一番大切ですので、皆様一人ひとりの防犯に対する意識が高まり、犯罪の未然防止に役立てば幸いです。

第8位 窓に合わせガラスが入っていた。

泥棒は、侵入口を探します。それは、自分の逃走口でもあります。

泥棒は、ガラスの鍵の部分を作り、クレセント錠を開けて侵入してきます。ガラスが「二重ガラス」であったり、ガラスに「防犯シート」が貼付されているような場合、錠を開錠することができません。

二重ガラスや防犯シートの全面貼付には費用がかかりますので、クレセント錠の部分だけでも結構ですので、「防犯シート」を貼ると防犯に効果があることが分かりました。

今月のことば『一宿一飯』 (いっしゅくいっぱん)

ちょっとした世話になること。ちょっとした恩義でもわすれてはいけないという戒めの語。

「一宿」は旅先などで一晩泊めてもらうこと。「一飯」は一回の食事をごちそうになる意。

【故事】むかし、博徒の世界では一度でも他人の世話になったことを一生の恩義とする風潮がありました。「一宿一飯の恩義」など、転じて、ちょっとした恩義でも忘れないようにとの戒めの意味に使います。



【ふるさとクロスワード】

＊答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。(×切は7月10日)
先月号の回答は「障子」で、Cの「和風建築」でした。

今月の問題

パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、ある地方名にして下さい。その地方にある都道府県は、下の3つのうちのどこでしょうか。

(A ; 愛媛県、 B ; 青森県、 C ; 静岡県)

1		8		12		15
		B				
2	6		10			
A				D		
3			11			
			C			
		9			14	
4	7			13		
5						

【よこのヒント】

- ① ; 西暦574年に生まれ、推古天皇時代に摂政となり政治を行った人。浄土真宗においては、この人が観音菩薩の生まれ変わりであり、親鸞聖人も同じであるという事で、深く信仰にかかわりを持つ人。高齢者には、一万円札の肖像画の人として有名。
- ② ; 家族の遺産をうけつぐこと。
- ③ ; 。今年の干支は？
- ④ ; 同じ時間。
- ⑤ ; 隠すことなく全部語る話。
- ⑨ ; アルファベットで、A、B、Cから始めると、9ばんめの文字は？
- ⑪ ; 近頃見なくなりましたが、飯を炊いたり、湯を沸かしたりする金属製の器は？
- ⑬ ; あわら市吉崎の伝説で、吉崎に蓮如上人がいらした時代のこと。坊舎が火事になってしまい、その時日頃御恩を頂いていた仲間がたくさん集まり、泡をみんなで吹き出し合い火を消したお話。その時火傷をしてしまい、手が赤くなったとされる動物は？

【たてのヒント】

- ① ; ある問題に関して、多数の人々から賛同の署名を集める運動。
- ⑥ ; ありさま。様子
- ⑦ ; 家のこと。
- ⑧ ; 亜鉛でメッキした薄い鉄板の事。今では車庫や農作業小屋にの屋根によく見られますが、昔は〇〇屋根の家がたくさんありました。
- ⑨ ; イギリスはヨーロッパ。では日本は？
- ⑩ ; 第2次世界大戦のころ、空襲・火災などの被害を少なくするため、集中している人工や建造物を分散させていました。「学童〇〇」や「強制〇〇」など、今では懐かしい言葉と思われる方が多いのではないのでしょうか。
- ⑫ ; 昔はよく遊びましたが、2本の竹竿にそれぞれ適当な高さに足掛かりを作ってこれに乗り、両手で竿の上部を握って歩くものです。
- ⑬ ; ばくち場。鉄火場。
- ⑮ ; 現在、採掘は行われていませんが、凝灰岩の一種で、福井県福井市の足羽山で採掘されていた石材。継体天皇が1500年前に発見したとされ、「ふくいブルー」としてブランド名を持つ石。今回、あわら市のえちぜん鉄道「あわら湯のまち駅」近くに完成した「足湯(芦湯)」では、湯船にその石が敷き詰められています。その肌触りと色合いも、足湯に入る楽しみの一つです。



おしらせ

6月29日(日) 13:00~

御文講座「如勝さんの御文」場所：蓮如上人記念館

